

◇ ◇ 受賞候補者募集等 ◇ ◇

—鹿島学術振興財団 2024 年度研究助成（自然科学分野）—

1. 助成の趣旨

我が国の学術の発展並びに学術の国際交流を図るため、工学を含む自然科学、人文・社会科学、学際融合的な分野・領域などにおいて、国民生活向上への寄与が期待される研究に対して助成を行うものです。

2. 助成対象の研究分野

助成の対象となる主な研究分野は以下の通りです。

- (1) 都市・居住環境の向上
- (2) 国土・資源の有効利用
- (3) 防災・危機管理の推進
- (4) 文化・自然環境の保全

※ (1)～(4)に関連する社会システム、情報技術等先端技術に関するものを含む

3. 助成対象研究者

上記2. 対象分野に関する研究を行う、指定する推薦機関に所属する常勤の研究者、または常勤の研究者から構成される研究グループとします。推薦期間は、自然科学の分野は、指定する学会、人文・社会科学の分野は指定する大学としています。詳しくは、この募集要項の末尾の推薦依頼先リストにて御確認下さい。ただし、学会・大学等の機関の事業・研究活動として実施されている研究は対象としません。

4. 募集期間

2023年7月1日（土）～10月31日（火）

上記は財団への提出期限ですので、推薦期間への申請期限は、各推薦機関に御確認下さい。

なお、2024年度の助成対象となる研究機関は、2024年4月～2025年3月です。

5. 助成金額及び助成期間

(1) 総額約6,500万円（予定）

一研究課題への助成金は、継続期間（2年目）を含めて合計300万円以内とします。助成金は、新規申請、継続助成申請に基づいてそれぞれ決定します。なお、単年度または初年度で200万円以上の助成金を申請するときは、申請書の「5. 研究計画の要約」欄に理由を付記して下さい。

(2) 助成期間は2年までとします。

2年目の継続助成を希望する場合は、新規申請書の「次年度継続助成希望の有無」に必ず「希望あり」とし、希望金額を記入して申請して下さい。ただし、2年目の継続助成については財団に直接提出される「中間報告書兼継続申請書」により、改めて内容を審査のうえ、採否、助成金を決定します。

(3) 2年目の継続助成申請手続き

初年度申請時に継続助成を希望した採択者は、WEB申請システムより、上記の「4. 募集期間」内に継続助成申請手続きをして下さい。

6. 助成金の使途

(1) 助成金には、研究に必要な設備備品費、消耗品費、謝金、旅費、印刷製本費、研究管理費（助成金額の5%以内）等を含めることができます。ただし、設備備品費は原則として助成金額の30%を超えないものとするともに、当該研究の実施に直接必要なものに限り、

(2) 助成決定後、助成金の使途を変更（年度助成金額の30%を超えるような場合）、研究計画を大幅に変更する必要がある場合は、必ず事前に事務局まで御連絡下さい。研究計画に重要な変更が生じる場合、また、事前の連絡がなく変更した場合は、助成の取り消し、あるいは助成金の返還（全額または一部）を求める場合があります。

(3) 当財団は、助成金の一部を所属機関への間接経費に充てることについては、想定しておりません。

7. 申請手続

(1) 申請代表者は、当財団ホームページ上に設定されたWEB申請システムに従って申請書を作成後、必ず指定する推薦機関を経て紙面による申請書を提出して下さい。推薦者は、自然科学の分野は指定する推薦機関の学会代表者、人文社会科学の分野は指定する大学の学長または直属の所属機関長（学部長、大学院研究科長、研究所長等）です。

申請者が申請書を直接当財団に送付することはできません。

- (2) 各推薦機関は、推薦者に必要事項を記入の上、申請書とともに当財団宛に郵送にて提出をお願いします。推薦機関は、複数の申請を推薦することができます。
- (3) 募集要項、申請用紙（含 推薦書用紙）は当財団ホームページよりダウンロードできます。
当財団ホームページアドレス <http://www.kajima-f.or.jp/>
- (4) 申請書は片面印刷で作成して下さい。

〈申請手順〉

- ①マイページの取得（ID とパスワードなどを設定）
 - ②「申請基本情報」を申請システムから登録
 - ③「申請書類一式」をダウンロード、作成後アップロード
 - ④申請電子データ受付の確認メール受信
 - ⑤推薦機関に「申請書類」（原本）を提出
 - ⑥推薦機関は審査手続き後、「推薦書」を付して「申請書類」（原本）を当財団へ郵送
8. 締切日 本会からの推薦希望者は9月13日（水）までに所定の用紙を本会事務局会員サービス部調査課宛へ御提出下さい。理事会で選考し会長名で推薦します。
9. 問合せ先 公益財団法人鹿島学術振興財団事務局
〒107-8502 東京都港区赤坂 6-5-30
TEL [03] 3584-7418, FAX [03] 5561-2016
<https://www.kajima-f.or.jp/>

——鹿島学術振興財団 2024 年度国際共同研究援助・国際研究集会援助——

1. 特定テーマ研究助成（公募）

財団が策定する特定テーマに対して、幅広い分野の研究者グループにより様々な視点・問題意識から提案される分野横断／融合研究を助成する。

- (1) 2024 年度助成対象特定テーマ
 - ①豊かな地域居住環境を保つための持続的経営に向けたシナリオ構築
 - ②カーボンニュートラルな社会の早期実現に資する研究
 - ③想定外事象から素早く立ち直るための研究
 - ④インクルーシブな町づくりに関する研究
 - ⑤少子高齢社会において建設生産性向上をめざす研究
 - ⑥人口減少に伴う建設業の問題解決のための制度と合意に関する研究

（各テーマの趣旨は当座団 HP または募集要項を御参照下さい）

- (2) 助成対象者（申請者）
日本の大学等の研究機関等に所属する常勤の研究者であり、共同で研究を行う研究者グループ代表者
- (3) 助成期間・金額：原則2年間 再考2,000万円／件
- (4) 新規申請採択予定件数：2～3件程度
- (5) 募集期間：2023年7月1日（土）～10月31日（火）

2. 国際共同研究（公募）

我が国と海外の大学等研究機関の研究グループによる共同研究の費用を援助する。

- (1) 主な援助対象研究分野（自然科学及び人文・社会科学）
 - ①都市・居住環境の向上
 - ②国土・資源の有効利用
 - ③防災・危機管理の推進
 - ④文化・自然環境の保全

※（1）～（4）に関連する社会システム、情報技術等先端技術に関するものを含む
- (2) 援助対象者（申請者）
日本の大学等の研究機関に所属する常勤の研究者であり、国際共同研究の日本側研究グループ代表者
- (3) 援助期間・金額：1年または2年、最高1,000万円／件
- (4) 新規申請採択予定件数：5～6件程度
- (5) 募集期間：2023年7月1日（土）～10月31日（火）

3. 国際研究集会援助（公募）

我が国で開催される学術的専門家・研究者の参加する中小規模の国際会議の費用を援助する。

- (1) 援助対象者（自然科学及び人文・社会科学分野全般）
日本の大学、研究機関等に所属する研究者であり、研究集会の開催責任者
- (2) 援助金額：原則として 50 万円／件
- (3) 採択予定件数：20 件程度
- (4) 募集期間：2023 年 7 月 1 日（土）～10 月 31 日（火）

4. 応募方法 財団 HP (<https://www.kajima-f.or.jp/>)

「WEB 申請システム」から応募していただきます。

お問い合わせ 鹿島学術振興財団 HP 内「お問い合わせフォーム」からお願い致します。

<https://www.kajima-f.or.jp/>

——2023 年度（第 55 回）倉田奨励金——

助成対象

- (1) 日本国内の大学及びその附属研究施設、研究機関、高等専門学校に所属する研究者（株式会社に所属する研究者は除く）を対象とし公募制とします。大学院生の応募可。
- (2) 所属機関長（総長・学長、研究科長、学部長、理事長、研究所長、直属の上長等）の推薦書を必要とします。推薦の数に制限はありません。
- (3) 国籍は問いません。ただし研究期間終了まで日本国内に継続した研究拠点を有する見込みの方に限ります。
- (4) 自然科学・工学研究部門：募集年度 4 月 1 日現在の年齢が 45 歳以下であること。
人文・社会科学研究部門：年齢制限無し。

助成部門

- ・自然科学・工学研究部門 国際的視野で社会課題の解決に資する、独創的、先駆的な研究。対象は（1）エネルギー・環境（2）都市・交通（3）健康・医療 3 分野とし、募集要項に分野分類の例示をしめします。自然科学・工学研究の視点による学際的研究も対象とします。
- ・人文・社会科学研究部門 科学技術の進歩がもたらす社会の変容、その背景に潜む複合的な諸問題を人文・社会科学の視点（社会、文学、歴史、哲学、倫理、法制度、経済学、心理学、文化、芸術等）から読み解き、科学技術の発展の意味や価値と社会のあり方を探究する研究。年齢制限無し。募集要項に対象とする研究の例示を示します。

助成金額

- ・自然科学・工学研究部門 （1 年）100 万円程度／1 件、（2 年）300 万円程度／1 件 研究期間は申請時に選択
- ・人文・社会科学研究部門 80 万円～100 万円程度／1 件 研究期間は 1 年

採択件数

- ・自然科学・工学研究部門 （1 年）33 件程度／年、（2 年）7 件程度／年
- ・人文・社会科学研究部門 11 件程度／年

応募方法 電子申請による公募です当財団ウェブサイトから募集要項、申請書をダウンロードのうえ、専用フォームから申請して下さい。（郵送不可）

応募締切 2023 年 9 月 15 日（金） 必着

問合せ先 日立財団「倉田奨励金」事務局

TEL [03] 5221-6677, FAX [03] 5221-6680

kurata@hdq.hitachi.co.jp <https://www.hitachi-zaidan.org>

——第 27 回（令和 5 年度）丸文財団研究業績表彰、研究交流助成——

対象技術分野 原則として以下のエレクトロニクス関連分野を表彰対象とします。

- ①集積エレクトロニクス及び情報システム応用、②光エレクトロニクス、③先端デバイス・材料及びシステム、④エネルギー・環境エレクトロニクス、⑤バイオ・医用エレクトロニクス

研究業績表彰

- ・丸文学術賞 1件
- ・丸文研究奨励賞 3件

交流（研究）助成

- ・交流研究助成 日本国内の大学，国公立研究所などの研究機関が，研究交流を目的として海外から受け入れる外国人研究者，もしくは海外へ派遣する日本人研究者の研究費等，または将来，交流研究，共同研究に発展すると期待される研究活動に従事する国内外の留学生の研究費等の助成（12件程度）。

応募資格

- ・大学または公的研究機関に属すること。
- ・大学院または若手研究者であること（国籍不問）。
- ・応募時に所属長の推薦が得られること。

応募締切 2023年10月27日（金） 必着

問合せ先 丸文財団

TEL [03] 3661-1881, FAX [03] 3808-2959

marubun.zaidan@mrpf.or.jp <https://www.marubun-zaidan.jp>

——2024年度 日本アイソトープ協会奨励賞——

分野 放射性同位体及び放射線に係わる基礎並びに応用研究を対象とする。なお，放射性同位体及び放射線の管理，啓発，普及活動，社会活動についても考慮する。

資格（以下の条件を満たす者。）

- （1） 2024年4月1日において，満45歳未満，または博士の学位取得後10年以内の者。ただし，出産・育児・介護等のライフイベントによる休業期間及び研究開始猶予期間を考慮する。
- （2） 過去において本賞を受賞していないこと。

応募書類（1） 日本アイソトープ協会奨励賞候補者推薦書

（2） 代表的な論文3報

（3） 主要論文以外に具体的な活動を示す著作物がある場合，その写し

応募期間 2023年7月3日（月）～2023年10月31日（火）

その他 当協会奨励賞候補者選考委員会が選考し，当協会が3名程度の受賞者を決定します。選考結果は受賞者に通知し，2024年3月をめどに公表します。受賞者は，当協会主催のアイソトープ・放射線研究発表会にて受賞講演を行い，当協会の学術誌であるRADIOISOTOPES誌に論文を投稿します。

問合せ先 日本アイソトープ協会学術振興部学術課 日本アイソトープ協会奨励賞事務局

TEL [03] 5395-8081

shoreisho-r@jrias.or.jp <https://www.jrias.or.jp/>